

オムロン 耳式体温計 MC-510

取扱説明書



- このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書はいつもお手元においてご使用ください。
- 本書は品質保証書を兼ねていますので、紛失しないように保管してください。

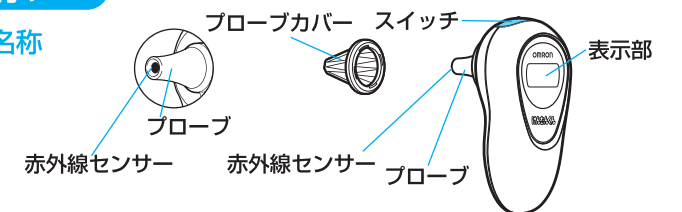
製品を確認してください



本体
※新しい
プローブカバー
がついています。

- 収納ケース
- 取扱説明書 (本書)
- 医療機器添付文書
- プローブカバー (10枚)

各部の名称



測定の準備をします

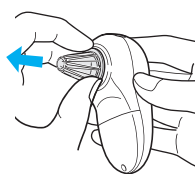
1 プローブカバーが本体についていること、汚れていないことを確認します。

プローブカバーの交換

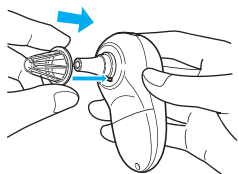
以下のような場合は交換してください。

- 汚れていたり、破れたり、傷がついているとき。
- 他の人が測った後。

①プローブカバーをはずします。



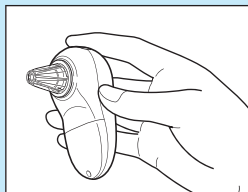
②新しいプローブカバーをつけます。



*カチッと音がするまで入れてください。

2 スイッチを押します。

電源が入り、表示部が全点灯した後に「℃」が点滅します。



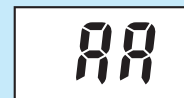
※本体をつまむように持ちます。



※このときの「∞」は表示確認用です。



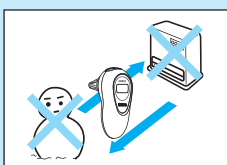
本体が室温になじんで、℃点滅表示になれば測定できます。



※AA表示がでたときは測定できません。

正しく測定するために

- 本体を測定する部屋の温度に30分ほどなじませてからご使用ください。



- 測定する部屋より温度が低い(高い)場所に保管してあった場合や冷暖房機器の前などに置いてあった場合は、正しく測定できません。

上記のようなときAA表示になり、測定できません。

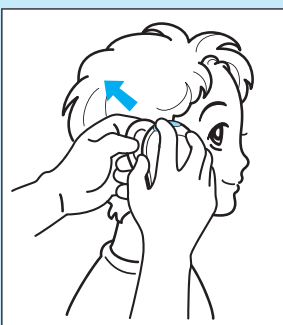
(たとえば部屋と本体の温度差が10℃あった場合、5分ほど表示します)



- プローブを長い間つまんだり、連続測定した後もAA表示されることがあります。

測定します

3 プローブを耳に入れます。



本体をつまむように持ち、鼓膜方向へできるだけ深く入れます。

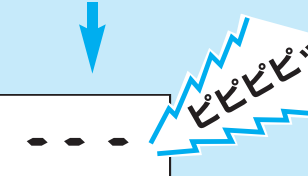
- 耳が小さくプローブが入らないときは
- 耳を後方に軽く引っ張りながら、耳に無理に入れず耳の入り口をプローブでピッタリとふさいでください。

4 測定します。(ぴったりセンシング機能※)



耳に入れて34℃以上を検知すると「ピッ」と鳴り、自動的に測定を始めます。

※ぴったりセンシング機能
測定中の最も高い温度を記憶します。



スイッチを押します。「ピピピッ」と鳴って測定が終わります。最短1秒で測定できます。

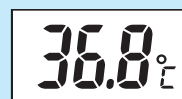


・測定結果を表示します。

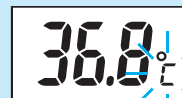
・約1分後に自動的に電源が切れます。(スイッチを押しても電源は切れません。)

続けて測定したいとき

- ・約10秒後に表示部の「℃」が点滅します。
- ・「3 プローブを耳に入れます。」に戻ってください。
- ・連続測定は3回を限度にしてください。本体が温まり、正しく測定できないことがあります。4回以上測定する場合は10分以上待ってから測定してください。
- ・プローブカバーが汚れていたり、他の人を測る場合は新しいプローブカバーと取り替えてください。



約10秒後



こんなときは正しく測れません

- 耳孔が濡れているとき 水泳や入浴の後など耳孔が濡れているときは使用しないでください。
- 運動や入浴、飲食の直後 30分以上時間をあけて測定しましょう。
- 起床直後に動き出したとき 起床直後の動く前か、動き出してから30分以上時間をあけて測定しましょう。

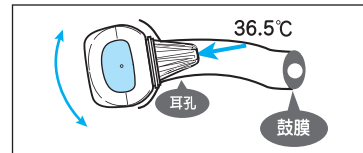
ぴったりセンシング機能について

耳式体温計は、鼓膜の方向へ正しく挿入することが大切です。

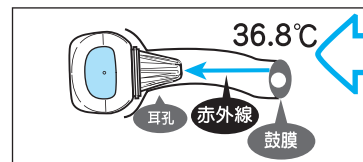
耳式体温計は、耳の中でもっとも高い鼓膜の温度を測定します。そのため、正しく挿入しないと耳の穴の内壁の温度を測ってしまい低い値を表示します。

鼓膜の方向が分かりづらいときに安心なぴったりセンシング機能

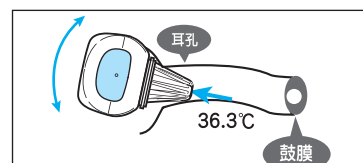
測定中のもっとも高い温度を記憶し、測定結果として表示する機能です。お子さまを測ってあげるときに便利です。



測定中のもっとも高い温度をこのように記憶しています。



この温度を記憶



※これらの図は頭の上から見たイメージ図です。

お子さまを測ってあげるとき



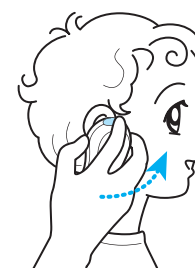
(寝ている赤ちゃんを測るとき)



(子供を座らせて測るとき)

鼓膜の方向が分かりづらいとき

「ピッ」と鳴ったら左右に2~3回動かしてからスイッチを押してください。測定中のもっとも高い温度を表示します。



(じっとしていない子を測るとき)

お子さまがじっとしていないときは「ピッ」と鳴って、しばらくしてからスイッチを押してください。(10秒以内) 測定中のもっとも高い温度を表示します。

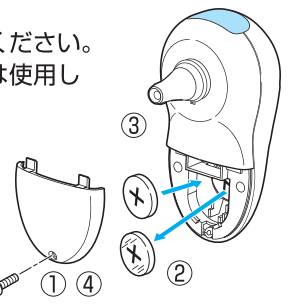


ぴったりセンシング機能は最長10秒間です。「ピピッ」と鳴って左の表示が出たら、耳の中に入れてそのままスイッチを押して測定を終了してください。

電池交換

(リチウム電池CR2032をご使用ください)

- ①小さなドライバーでネジをゆるめて、電池カバーをはずします。
- ②電池を取り出します。つま楊枝など先の細いものを使用してください。金属製のピンセット、ドライバーなどは使用しないでください。
- ③新しい電池の(+)側を上にして交換します。
- ④電池カバーを元どりにし、ネジをしめます。



*使用推奨期限の過ぎた電池を使わない。
*使用済みの電池は、お住まいの市区町村の廃棄方法に従って処理してください。

お手入れと保管

測定が終わったら、お手入れをした後、収納ケースに入れて保管してください。

■お手入れ方法

本体

本体の汚れは柔らかい乾燥した布で軽く拭いてください。
*水洗いや、研磨剤入りのクリーナー、シンナー、ベンジンの使用は絶対にしないでください。

赤外線センサー

赤外線センサーが汚れたときは、乾燥した柔らかい布か綿棒でそっと拭きとってください。それでもとれない場合は修理サービスに依頼してください。

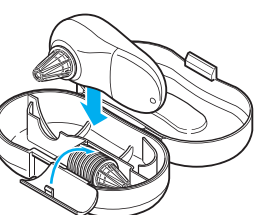
*ティッシュペーパーや、ペーパータオルなどで拭かないでください。

■保管するとき

お手入れが終わったら、プローブカバーをつけ、収納ケースに入れて保管してください。使用する場所に保管しておくと、すぐに使えて便利です。

プローブカバーは消耗部品です。付属のプローブカバーがなくなりましたら、別売品をお求めください。

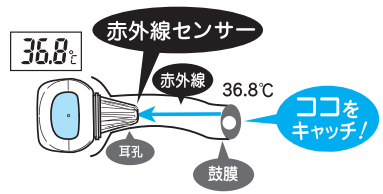
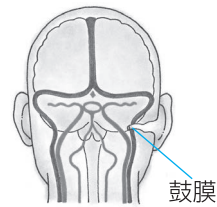
*直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、ほこりの多い場所、火気の近く、振動衝撃の加わりやすい場所には保管しないでください。



耳式体温計について～耳の体温とは～

MC-510は、赤外線センサーで鼓膜温を測定します

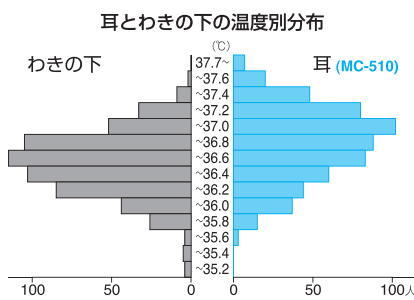
わきの下や舌下などによる体温の測定値は、外気温や汗、唾液などの影響を受けやすいため、深部温度より低く測定されます。脳温をよく反映する耳の検温は、発熱の数値をすばやく知ることができます。



耳と、わきの下の温度は異なります 平熱時の耳とわきの下の「温度差」を発熱時の「温度差」の目安にしてください

測定部位（耳・口中・わきの下など）によって温度は異なります。オムロンの調査では、耳の方が高い人が多いことがわかりました。

*耳が低い人、耳とわきの下の温度差が1℃以上の人など個人差があります。



家族みんなの「耳で測った平熱」を知っておきましょう

発熱の状態を正しく判断するためには、体調のよいときに耳で検温して、家族の平熱を知っておくことが大切です。

Q&A 測定結果の疑問にお答えします…

連続測定はどのくらいできるのですか？

連続測定は3回を限度にしてください。本体が温まり、正しく測定できないことがあります。4回以上測定する場合は10分以上待ってから測定してください。

右と左の耳では測定結果が違いますか？

健康な方ではほとんど測定結果に差がありません。原因として以下のことが考えられます。
①赤外線センサーの入れ方が一定していない
②安定した挿入方法と角度で測定していない

どちらか安定して最も高く測定値がでる耳で、いつも測定するようにしましょう。

体温が高くですが？

- ①ブロープカバーが破れている
- ②わきの下の体温の測定値が低い
体温計でわきの下を測る場合、正しく測定するためには最低10分以上必要とされています。わきの下では測定時間が短いと測定値は低めにです。
- ③低い温度の部屋においてあった体温計をすぐ使った
測定する部屋の室温に30分ほどなじませてから測定してください。実際に測定する部屋などに保管しておくとすぐに使えて便利です。

体温が低くですが？

- ①ブロープカバーが汚れている
- ②赤外線センサーが汚れている
- ③測定終了前に耳から離れた
氷枕や氷嚢(ひょうりょう)を当てていたときや、冬など帰宅後すぐ測定した場合は低くです。
- ⑤耳への入り方が浅い
- ⑥赤外線センサーが鼓膜方向を向いていない
「ぴったりセンシング機能について」をご参照ください。

おかしいな?と思ったら

こんなとき	点検するところ	なおし方
スイッチを押しても何も表示しない	電池が消耗していませんか。 電池の+-の向きが間違っていないですか。	新しい電池と交換してください。 電池を正しく入れ直してください。
表示部の全点灯後、「∞」が出ている	もう少しで電池が切れます。	早めの電池交換をおすすめします。
「∞」が単独で出る	電池が切れています。	新しい電池と交換してください。
耳に入れても 表示しない	ブロープカバーが汚れていませんか。 赤外線センサーが汚れていませんか。 耳垢がたまっていますか。	新しいブロープカバーと取り替えてください。 赤外線センサーを綿棒などで清掃してください。 耳垢を綿棒などで清掃してください。
表示が出ている	本体が約34℃以上です。	耳に入れても「ピッ」と鳴りませんが、スイッチを押すと約2秒で測定できます。(ぴったりセンシング機能は使えません)
表示が出ている	ブロープカバーの装着を忘れていませんか。	ブロープカバーをつけて測定してください。
測定結果が34℃未満になった	測定が完了する前に耳から抜いていませんか。	測定が完了してから耳から抜いてください。
測定結果が42.2℃を超えた	赤外線センサーが破損していませんか。 ブロープカバーが破れていませんか。	修理サービスを依頼してください。 新しいブロープカバーと交換してください。
表示が出ている	本体が測定する部屋の温度になじんでいません。	測定する部屋(10℃～40℃)の温度になじませてから測定してください。
表示が出ている	本体の温度が約10℃以下です。 本体がこの温度では測定できません。	実際に測定する部屋などに保管しておくとすぐ使えて便利です。
表示が出ている	本体の温度が約40℃以上です。 本体がこの温度では測定できません。	
表示が出ている	電源オフ後、もう一度電源を入れてください。再び「Er.1」が表示された場合、本機の故障が考えられます。修理サービスを依頼してください。	

オムロン 耳式体温計 MC-510

お使いになる前によくお読みください。

安全上のご注意

- ここに示した警告サインと図記号の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例

△記号は注意(警告・危険を含む)を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は“破損禁止”を示します。

⊙記号は禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、⊙の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は“一般的な禁止”を示します。

●記号は強制(必ず守ることを)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は“一般的な強制”を示します。

警告

測定結果の自己診断、治療は危険ですので医師の指導にしたがってください。

- 自己診断は、病気が悪化する恐れがあります。
- 必ず専用のブロープカバーをつけて測定してください。
- 赤外線センサーが汚れて正しい測定結果がでない恐れがあります。
- 他の人が使用したブロープカバーは使用しないでください。
- 外耳炎などの病気が感染する恐れがあります。

ブロープカバーが耳垢などで汚れた場合は新しいものに取り替えてください。

- 正しい測定結果がでない恐れがあります。
- 赤外線センサーが破損したり、汚れて正しい測定結果がでなくなる恐れがあります。

赤外線センサーを手でさわったり、息を吹きかけたりしないでください。

- 赤外線センサーが破損したり、汚れて正しい測定結果がでなくなる恐れがあります。
- ティッシュペーパーやペーパータオルで拭くと赤外線センサーに傷がつき、正しい測定結果がでなくなる恐れがあります。
- 乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 自分で無理に測ろうとして耳を傷つける恐れがあります。万一、電池やブロープカバーを飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

帰宅後すぐなど耳が冷えている場合は、耳が温まってから測定してください。

- 水枕や氷嚢などを当てていたときや冬など帰宅後すぐに測ると低い値になることがあります。

保管場所と測定場所の温度差があるときは、室温(測定場所)に30分ほどなじませてから測定してください。

- 正しい測定結果がでない恐れがあります。
 - 本体が水などでぬれた状態で検温しないでください。
 - 正しい検温ができません。病気が悪化する原因になります。
- 人間の耳での体温測定以外に使用しないでください。
- 正しい検温ができません。病気が悪化する原因になります。

注意

無理にプローブを耳に挿入しないでください。また、使用中に痛みなどの異常を感じたときは、使用を中止してください。

長期間(3ヵ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

- 漏液、発熱、破裂などを起こし、機器を破損させる恐れがあります。

本体を噛まないでください。

- 事故や故障の原因になります。

外耳炎、中耳炎など耳に疾病のある方は、使用しないでください。

- 疾患部分を悪化させる恐れがあります。

電源が入ったまま、電池交換を行わないでください。

- けがや本体故障の原因になります。

強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。

- 検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

水泳や入浴の後など耳孔が濡れているときは、使用しないでください。

- 耳孔を傷つける恐れがあります。また正確に測定できません。

電池の⊕⊖極を正しく入れてください。

- 発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。

指定の電池を使ってください。

- 発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。

電池を火の中に投げ込まないでください。

- 電池が破裂する恐れがあります。

お願い

- 医師に体温を知らせるときは、耳式体温計で測ったものであることを伝えてください。
- 本体に強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、振動を与えたりしないでください。
- 本機の近くで、携帯電話を使用しないでください。
- 分解や修理、改造をしないでください。
- 本体は防水ではありません。液体(アルコール、水滴、熱湯など)が本体内部に入らないように取り扱いに注意してください。

仕様	
医療機器認証番号	21200BZZ00539000
類別	機械器具16体温計
一般的名称	耳赤外線体温計
医療機器分類	管理医療機器
販売名	オムロン耳式体温計 MC-510
電源電圧	DC3V(リチウム電池CR2032)
電池寿命	約5000回(23℃環境下で連続測定の場合) *付属のリチウム電池はお試し用です。電池寿命が5000回より短い場合があります。
耐用年数	5年
感温部	サーモパイル
体温表示	3桁+℃表示、0.1℃毎
測定精度	±0.1℃(36.0～39.0℃) ±0.2℃(34.0～35.9℃、39.1～42.2℃) (標準室温23℃にて基準黒体で測定した場合)
電撃保護	内部電源機器 ⚡=B形装着部(ブロープカバー)
測定範囲	34.0～42.2℃
測定方法	実測
質量	約50g(電池含む)
外形寸法	45(幅)×94(高さ)×58(奥行き)mm
使用環境	周囲温度: +10～+40℃ 相対湿度: 30～85%RH
保管環境	周囲温度: -20～+60℃ 相対湿度: 30～95%RH
付属品	お試し用電池(リチウム電池CR2032×1個)、 収納ケース、取扱説明書(品質保証書付き)、 医療機器添付文書、ブロープカバー(10枚) *別途ブロープカバー1枚は本体に装着済みです。
別売品	けんおんくんシリーズ専用ブロープカバー(40枚入) MC-PROBE TYPE J
製造販売元	オムロンヘルスケア株式会社 住所: 〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地 電話: 0120-30-6606(オムロンお客様サービスセンター)
※お断りなく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。	
[EMC適合] 本製品はEMC規格IEC60601-1-2:2007に適合しています。	

お問い合わせ窓口

修理・製品に関するお問い合わせ
別売品・消耗部品のお求めは

オムロンお客様サービスセンター
おむろんオムロン

電話 0120-30-6606 通話料無料
FAX 0120-10-1625 通話料無料

受付時間 9:00～19:00 月～金(祝日を除く)
都合によりお休みをいただいたり、受付時間帯を変更させていただくことがありますのでご了承ください。

修理には、便利な引き取りサービスをご利用ください。

別売品・消耗部品は、インターネットでもお求めいただけます。
オムロンインターネットパーツセンター

<http://store.healthcare.omron.co.jp>
24時間受け付けています。

(通信料、送料はお客様ご負担となります。)
オムロン健康製品ホームページ
<http://www.healthcare.omron.co.jp/>

※通信料はお客様ご負担となります。
保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
- 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。
- 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
 - (ニ) 本書の提示がない場合。
 - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ヘ) 消耗部品。
 - (ト) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
 - (チ) その他取扱説明書(本書)に記載されていない使用方法による故障および損傷。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 補修用部品は製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

品質保証書
このたびは、オムロン製品をお買い求めいただきありがとうございました。製品は厳重な検査をおこない高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生したときは、保証規定によりお買い上げ後一年間は無償修理または交換いたします。
※製品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただく必要があります。
This warranty is valid only in Japan.

販売名 オムロン耳式体温計 MC-510
お買い上げ店名
ご住所 住所
Tel. ()
お買い上げ年月日 年 月 日

製造販売元 オムロンヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地